

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月28日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【共用ボイラ建屋解体作業中のバックホーのアーム中間部からの漏油について】 共用ボイラ建屋解体作業中のバックホーのアーム中間部からの漏油を確認。 オペレーターは、アーム先端の解体対象物に意識が集中しており、アーム中間部への意識が不足していたと思われる。 このため、バックホーのアーム中間部と屋根解体片を接触させ、作動油系統のホースが切れ漏油したものと推定。 作動油の漏えい量は約1リットル程度であり、吸着マットにて拭き取りを実施。 ホース内の残油については、油受け皿に回収済み。 切れたホースは、吸着材とビニールにより養生を実施。 ホース入荷後、交換予定。 今後、再発防止策を検討。</p>	GⅢ	1月23日